

## 第 8 分科会

### その能力、どうしたら社会で活かせる？

#### —発達障害のある理工系学生の能力を

#### 専門職就労につなげるために必要な支援と課題—

##### 分科会概要：

発達障害のある学生は得意・不得意の差が大きく、高い能力を持っている場合でも、コミュニケーションの不得手やこだわりの強さといった特性や、そもそもの発達特性のわかりにくさから、社会・企業の期待とのマッチングに困難が生じやすい。発達障害のある人の中には、いわゆる理工系分野に高い能力や資質をもっている人がいる。しかしながら、その能力が実際に社会で活かされるには、学生本人および学生を受け入れる企業・社会の間に、現状、様々なハードルや課題があると思われる。

本分科会では、大学・企業・公的就労支援機関より、今まきに行っている取り組みについてご報告いただき、まずはそれぞれの立場での「今、取り組んでいること・課題となっていること」を共有していくことで、今後の示唆となる議論につなげたい。

##### <プログラム>

14：00 趣旨説明

京都ノートルダム女子大学 現代人間学部 教授 三好 智子 氏

14：05 講演 1. 大学・支援部署からの報告

京都工芸繊維大学 アクセシビリティ・コミュニケーション支援センター  
特定教授 藤川 洋子 氏

14：35 講演 2. 企業からの報告

オムロン京都太陽株式会社 人事総務課 精神保健福祉士 佐野 友字子 氏

15：05 講演 3. 公的就労支援機関からの報告

京都新卒応援ハローワーク 就職支援ナビゲーター 乾 智子 氏

15：35 質疑応答・ディスカッション